

特別陳列

FUSEMUSEUM COLLECTION

布施美術館名品展 13

東アジアの資料群



陶枕 明代(15世紀)



俑 騎馬像 唐(7~8世紀)



俑 文官像 唐(7~8世紀)



俑 婦人像 唐(7~8世紀)



青銅器 祭器 春秋戦国(BC300年ころ)

令和5年

3月15日 ▶ 5月15日

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL&FAX 0749-85-2273
E-mail:takatsuki-shiryokan@city.nagahama.lg.jp
http://www.city.nagahama.lg.jp/section/takatsukirekimin/

入館料 | 大人300円(団体250円) 小中学生150円(団体130円)

*団体は20名以上です。*湖北(長浜市・米原市)の小中学生は無料。
*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

休館日 | 火曜日、祝日の翌日(3月22日)

■主催 高月観音の里歴史民俗資料館
■協力 一般財団法人布施美術館

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、特別陳列の開催を延期・中止する場合があります。



JR高月駅から徒歩5分
北陸自動車道「木之本I.C.」より10分
北陸自動車道「小谷城S.I.C.」より7分

東アジアの資料群

布施コレクションの中から、名品を展示紹介する毎年恒例のシリーズ展で、13回目の開催です。
長浜市高月町唐川に建つ布施美術館（非公開）は、当地出身の医師・布施巻太郎（1881-1970）が収集した富岡鉄斎（1836-1924）をはじめとする文人画、^{ぶせまきたろう} 經典や古文書、医学・薬学関係資料など数多くの貴重なコレクションを収蔵する美術館です。

初代館長である布施巻太郎の「自ら収集したコレクションを、国民の文化遺産として永く後世に残したい、広く社会教育に活用したい」という美術館の創設理念を受け継ぎ、高月観音の里歴史民俗資料館では毎年、布施美術館のすぐれた所蔵資料を特別公開しています。

今回の特別陳列では、古代から中世までの東アジア（主に中国・朝鮮）に関する資料を公開します。我が国は、東アジア文化の終着点であり各時代の大陸文化を吸収し、独自の文化として発展してきました。唐時代の貴人の墓から出土した俑、高麗王朝期の経巻、敦煌出土の経巻など日本文化の原点となる優れた資料にスポットをあて、東アジアの文化や歴史と我が国との関係を考えます。

本展を通じて布施コレクションの価値を再認識する契機にいただければ幸いです。



布施美術館（長浜市高月町唐川）

陶器
四耳壺
唐（7～8世紀）



伊羅保茶碗 朝鮮(16世紀)



熊川大抹茶碗 朝鮮(16世紀)



俑 牛像 唐(7～8世紀)

展示内容

①春秋戦国～北宋(BC.300～1127)の美術工芸品

春秋戦国時代の青銅器、東晋の磚硯、^{せんけん} 唐の^{よう} 俑(人形のこと)の文官像・婦人像・騎馬像などバラエティに富み、^{ぶしゅう} 武周の^{とんごう} 敦煌出土経巻など、古代中国の美術工芸品や仏教文化を紹介します。

②明代(1368～1644)の美術工芸品と文字文化

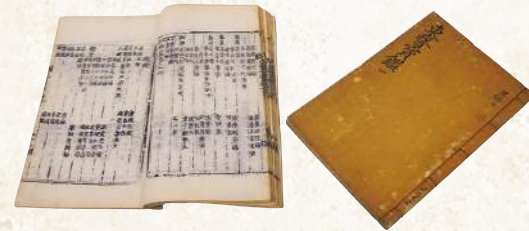
明代の陶磁器や典籍類を紹介します。

③朝鮮の美術工芸品と文字文化

高麗時代(918～1356)の経巻、朝鮮時代(1392～1910)の^{いらぼちゃん} 伊羅保茶碗や^{とまがわだいまっちゃん} 熊川大抹茶碗や典籍などを紹介します。

【見どころ】

- ①春秋戦国時代の青銅器を初公開!
- ②唐代の俑8軀を初公開!
- ③伝敦煌出土「金光明最勝王経」を初公開!(則天武后時代の資料)



東医宝鑑 朝鮮 光海君6年(1613)



金光明最勝王経 伝敦煌出土 武周 長安3年(703)

展示説明会

日時 令和5年3月26日(日) 午後1時30分から

会場 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室

※説明会には入館料が必要です。(観音の里歴史民俗資料館友の会会員は無料)

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229

TEL&FAX 0749-85-2273

E-mail:takatsuki-shiryokan@city.nagahama.lg.jp

http://www.city.nagahama.lg.jp/section/takatsukirekimin/